

●東海東京証券株式会社東京本部
 創業年：1929（昭和4）年
 代表者：石田建昭
 事業内容：金融商品取引業
 資本金：60億円
 売上高：559億7200万円
 従業員数：2203人
 所在地：東京都中央区日本橋3-6-2
 電話：03-3517-8600
 URL：http://www.tokaitokyo.co.jp

1965（昭和40）年2月4日、名古屋生まれ。一宮市大志小学校卒業。趣味はゴルフに釣り。学生時代に熱中したバレーボールは国体に出るほどで、休日はママさんバレーのコーチを務める。料理好きが高じて調理師の資格も持つ。家族は妻と小学生の子ども2人好きな店・おススメ：「日本橋 お多幸本店」のおでんと茅場町の「とりの吾作」の鳥スープは絶品。兜町の阪本町公園は証券マン御用達の癒しスポット。



外観



プレミアム美術展「現代陶芸 京都の作家三人展」は京都市の後援を得て今年6月に開催



陶芸展初日は、出展作家や京滋インテリアデザイナーに話を聞く「特別セミナー」が開かれた



地域や参加者との信頼関係を築くお祭りや文化行事にも積極的に参加している

日本橋めぐりの会「日本橋・京橋地区のまちづくりを提案・実行」を担う責任者。日本橋老舗「レジャー」や「シャッターチャンスのネットワーク」などの活動は多岐にわたる。他地域の自治体や事業者の「まちびと」企画にも多く参加。人と人との社会と文化の場を作り出している。URL：http://www.nihonbashi-meguri.com/

「今回のまちびと」
 辻本真理さん



何事も自分でやってみる。
 経験に勝るものなし

大切なのは数字だけでは理解できないし、ましてマニュアルになるものでもない。経験の中で身につけ、実践のなかから磨かれる感覚こそが「現場力」につながっていく。言葉よりも体で理解し、形にする—それがまちづくりなのである。

日本橋中央通りは高島屋や丸善をはじめ、江戸時代から続く老舗が立ち並ぶ。そんなお江戸日本橋のメインストリートに面する証券会社のオフィスビルでは、昨年から、1階ギャラリースペースでプレミアム美術展と称する写真展や美術展を開催している。会期中、出展作家が語るトークイベントも実施し、好評だ。

企画を担当するのはイベントプ

ロモーション部の神田広一さん。今年4月にできたばかりの同部署に配属された。畑違いの業務に奮闘しつつも、楽しんでやっている様子が印象的。「日本の文化・伝統に関わる美術や絵画は日本人のアイデンティティーの根幹、歴史も含めて紹介したい」と思いは熱い。

「経営戦略に「カスタマーロイヤリティ」と「スーパーコミュニティ」を掲げる同社。成長性や生産性だけでなく、信頼と地域貢献を大切にしている。会社の本業とは直接は関係ないイベント事業も、お客さんや地域の方々の生の声を聞く絶好の機会。何気ないひと言にも注意深く耳を傾け、重要な課題や問題点を見出す神田さんは、会社の内と外とのパイプ役という重要な役割を担っている。

東京 日本橋

まちびとめぐり ネットワーク 5

●日本橋めぐりの会 遠藤梨栄

日本橋界隈を舞台に、まちびとぐりに取り組む人々とその活動などを紹介。まちを愛し、奮闘する「まちびと」の輪をリレー形式でつなごう。



江戸秤座（はかりざ）跡：江戸の東国33か国で秤の製造・検査・販売等を一手に担った御用商人守随（しゅずい）家事業所跡。天保13年に日本橋箔屋町（現日本橋3-7）に移転。明治の度量衡取締条例で秤座が廃止され、営業を終了した。中央区民文化財の1つ。